



(写真)札幌農学校

創基25年記念

演武場イルミネーション

(1901年5月) (農学校A-45 別2部)



覆刻北海道主要樹木図譜/宮部金吾・工藤祐舜(北方・和書 582.1/MIY)

北海道昆布科植物圖集/宮部金吾(北方・和書 589.4/MIY)

宮部の植物調査行は徒歩によるもので、たいへんな苦勞を伴いました。これらの図書の多数の図版は、時間を越えて調査の成果を伝えてくれます。

雪の研究:結晶の形態とその生成/中谷宇吉郎 (書庫・和書551.5/NA)

中谷は多くの雪の結晶を顕微鏡写真に収め、分類を行いました。この図書にはその研究の成果と、1500枚以上の写真が収録されています。

2階オープンエリア (総合カウンターに向
かって右側の通路奥) で、関連本を展示
しています。展示ポスターを見て興味
のわいた方、これからの大学生活に
なにかヒントを得たい方、どうぞ
手にとってご覧ください。

(こちらの展示は5/30までとなります)



企画展示 「読んで知る 北大の人と歴史」

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL:011-706-2994 FAX:011-746-4595

MAIL:hoppo@lib.hokudai.ac.jp

(2014年4月1日発行 ©北海道大学附属図書館)

北海道大学附属図書館
企画展示



読んで知る

北大の人と歴史

場所：北海道大学附属図書館本館 玄関ロビー
期間：2014/4/1～2014/6/30



ごあいさつ

北海道大学の前身である札幌農学校は、米国のマサチューセッツ農科大学からクラーク博士を教頭に迎え、1876年に開校しました。

その後、博士の残した「Be ambitious!」「Be gentleman!」の精神は本学に深く根付き、多くの研究者や政治家、技術者、そして文学者を生み、国際性豊かな逸材を育ててきました。

この展示では、北大ゆかりのよく知られた人物を紹介します。その業績から本学の歴史を振り返るとき、フロンティア精神にあふれる先人たちが様々な分野で活躍していることを知って、今まで以上に北海道大学に親しみを覚えることと思います。



展示
ポスターの
紹介

1.札幌農学校の誕生とクラーク (W.S.Clark)

“Boys be ambitious!”の言葉が知られるクラークは、札幌農学校の初代教頭として、農学校の基礎を確立しました。

2.札幌農学校、大学になる

ときに廃止論もおきた農学校ですが、卒業生でありのちに総長となった佐藤昌介らの尽力によって、大学昇格を果たしました。

3.時計台が北大構内にないわけ

観光地として有名な時計台は、実は、農学校の演武場として建設されたものです。それがキャンパスから離れたところにあるのはなぜなのでしょう？

4.宮部金吾・そだてるひと

農学校二期生の宮部金吾は、農学校の教員となり、道内や千島・樺太の植物の研究にとりくんだ人物です。北大植物園の設立計画も担当しました。

5.内村鑑三・基督教徒としての一生

農学校二期生の内村鑑三は、在学中に「キリスト教の神」に出会い、のちに無教会主義を提唱してキリスト教普及に一生をささげました。

6.新渡戸稲造・太平洋の架け橋

農学校の二期生であり『武士道』の著者・新渡戸稲造は、札幌に「遠友夜学校」を開設し、経済的に教育を受けられなかった青少年への教育を推進しました。

7.廣井勇・つくる人

廣井勇は農学校卒業後に土木技師として活躍し、小樽築港北防波堤などの難工事を成功させた人物です。

8.有島武郎・白樺派の理想と現実

白樺派の代表的な作家である有島武郎は、農学校での学生時代と教員生活を反映した文学作品を数多く遺しています。

(右)有島武郎（農科大学教授を辞し札幌を去るに臨み）



9.中谷宇吉郎・天からの手紙を読み解く

中谷宇吉郎は北海道帝国大学理学部で研究を行い、初めて人工の雪の結晶製作に成功しました。

10.毛利衛・「宇宙から国境は見えません」

毛利衛さんは北大理学部卒業・北大工学部助教授などの経験を経て、日本人初の宇宙飛行士に選ばれました。

11.鈴木章・人生を変えた二冊の本

北大名誉教授の鈴木章先生は、「鈴木-宮浦クロスカップリング反応」によりノーベル化学賞を受賞しました。化学者を志した背景には、北大入学後に出会った二冊の本がありました。